

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和3年11月22日 NO.7 芦安小学校長

新型コロナウイルス感染症の流行も落ち着きを見せています。このまま静まってくれることを願っていますが、マスク着用や手指消毒、検温等の予防行動が当分の間は必要とされそうです。引き続きのご協力をお願いいたします。

その中で、一定の制約の下ではありますが10月下旬から今日までたくさんの行事や取り組みがありました。その一つ一つから子供たちの成長が感じられるのがうれしいです。今月もその一部を紹介します。

古屋敷橋の完成

中北建設事務所の計らいで、10月28日に完成し、供用前の古屋敷橋を全校児童に間近で見せていただく機会をいただきました。貴重な体験になっ

たと思います。

橋名板の「古屋敷橋」「ふるやしきはし」「御勅使川」の字は、昨年度に今の3年生から6年生が毛筆で書いたものです。「大人になってからもこの橋を思い出してほしい。そして子どもたちが土木関係の仕事に興味を持ってくれればうれしい」と事務所長さんはおっしゃっていました。



全員で「渡りぞめ」



担当した字の前で



ボルダリングを体験

11月1日、クラブ活動の時間にボルダリング体験をしました（「クラブ活動」には3年生以上が取り組みます。芦安小には「スポーツ」と「もの作り」があります）。駐在所の杉田さんと南アルプス警察署の方2名に指導をお願いして、チャレンジしました。子どもたちの緊張した中にも楽しさいっぱいの様子が印象的でした。次回は2年生以下の児童に体験させたいと考えています。



市内一斉あいさつ運動

「令和3年度青少年育成南アルプス市民会議」の事業として、11月1日から5日の4日にわたって実施されました。朝早くから芦安地区の支部長さんをはじめとする役員の方々が、中央橋周辺で活動してくださいました。たくさんの方々に見守られているのだということを実感した一週間でした。



芦安文化祭

10月から取り組んできた芦安文化祭が11月13日に開催されました。昨年度は中止せざるを得ませんでしたが、今年度は小中合同で無事に開催することができました。会場全体に音楽を楽しむ一体感が生まれていたと感じます。ご協力ありがとうございました。今年度は保護者のみの参観でしたが、来年度はぜひとも地域の方々にもご覧いただきたいと思います。

小中合同の行事には、小学生にとっては良いモデルである中学生から学ぶ機会が増えること、中学生にとっては幅広い年齢の仲間をまとめ、リーダーシップを学ぶという、双方にとって貴重な学びの場となっています。小中で話し合いを進め、来年度以降は運動会や文化祭、サツマイモの栽培や収穫などこういった機会をさらに増やすことを計画しています。



花いっぱい運動・ウォークラリー・やきいも集会

11月16日には全校で焼き芋集会和、鉢花の植え替え、そしてゲームを行いました。

猿に畑を荒らされてしまった昨年度の反省から、職員で網を張り替えるなどして早い時期から対策をしました。しかし敵もさるもので今年もちょっとしたスキを突かれ、かなりの量を食べられてしまいました。今年も買ったサツマイモをたして焼き芋を行いました。



朝早くから教頭先生を中心に熾火（おきび）を作り、朝学習の時間に子どもたちが新聞紙とアルミホイルで包んだサツマイモを熾火に載せました。



花いっぱい運動では全校で協力してプランターにパンジーを移植し、おかげで学校の周りが少し華やかになりました。

ウォークラリー、名付けて「芦安クエスト」を縦割り班ごとに楽しんだ後に、給食の時間に焼き芋を食べました。全校で秋の味覚を満喫することができました。

楽しい秋のひと時となりました。